

アクティブ福祉

第53号
2023.6

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



「東京の介護って
すばらしいグランプリ」
結果発表！

8～9ページを
みてね～♪



「うわさの施設」
社会福祉法人浴風会
特別養護老人ホーム第三南陽園

うわさの施設
「アクティブ福祉 in 東京 '22」
優秀賞受賞施設に訪問
4～5 ページだよ



「うわさの施設」社会福祉法人友愛十字会 砧ホーム

p2-3 特集

常任委員会の委員挨拶

p4-5

東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設 2施設

第17回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京 '22」 優秀賞受賞施設
「特別養護老人ホーム第三南陽園」「砧ホーム」

p6

新時代旋風

書籍「介護百首」出版までの道のり

p7

Join Us! イベントのご案内

アクティブ福祉 in 東京 '23 の開催について

p8-9

東京の介護ってすばらしいグランプリ 結果発表！

p14

東京ケアリーダーズ活動紹介
新生ケアリーダーズ始動!!

p10... ● 専門委員会リレートーク
第20回:利用者支援検討委員会

p11... ● 養護分科会トピックス

p12... ● 軽費分科会トピックス

p13... ● センター分科会トピックス

p15... ● 職員研修委員会トピックス

p16... ● 私の心に残るエピソード

p16... ● 編集後記



高齢協
ウェブサイト



Instagram



高齢協
会長

@koureikyou



YouTube



東社協
東京都高齢者
福祉施設
協議会





**会長
特養分科会長**

社会福祉法人三交会
特別養護老人ホーム青葉台さくら苑
理事長・統括施設長 **田中 雅英**

昨年末に再選され、2期目の会長を務めることになりました。現在、都内においては、人材不足、物価高騰、賃金上昇により施設への脅威が高まっています。物価高騰対策と来年の介護報酬プラス改定を獲得すべく、行政、議会へのロビー活動に力を注ぎます。全国老人福祉施設協議会との情報共有、協働も深めていきます。地域共生社会の実現、DX推進などに向けて、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと存じます。よろしくお願ひします。



**副会長
新型コロナウイルス対策委員長**

社会福祉法人楽友会
特別養護老人ホーム白楽荘
施設長 **鶴岡 哲也**

新型コロナ感染症の類型が5類へ移行し、新型コロナ対策は新たな局面を迎えています。この3年余りの間、感染予防や施設内療養への対応など多くの会員施設が未知の感染症に翻弄されてきました。あたりまえの日常が戻る日まで、引き続き会員施設事業所と高齢協が一体となって様々な課題に取り組めるよう努めてまいります。



**副会長
地域包括ケア推進委員長**

社会福祉法人三育ライフ
特別養護老人ホームシャローム東久留米
統括施設長 **我謝 悟**

この度、副会長に就任することになりました。前向きに、率直に意見を出し、少しでも現場が働きやすい環境を作り、利用者や地域の方々が安心できるように頑張ります。合わせて、地域包括ケア推進委員会の働きも進めていき、地域公益活動がどのように推進していただけるかなどの、様々な課題について検討して行きたいと思ひます。



センター分科会 支援センター分科会長

社会福祉法人白十字会
東村山市北部地域包括支援センター
センター長 **鈴木 博之**

地域包括支援センターが制度化されて17年、職種も業務内容も社会の在り様も、大きく変わりました。地域包括ケアの要と言われるセンターで働く一人一人の職員の皆様が、“やりがいと誇り、楽しみを持って仕事ができる、そんな職場を創る”ことをキーワードに会の運営を進めていけたら、と考えています。



センター分科会 デイサービス分科会長

社会福祉法人西新井だいわ会
高齢者在宅サービスセンター西新井
理事長・施設長 **細井 和男**

引き続きデイサービス分科会長を務めることとなりました。通所介護事業に大きな影響を及ぼすとされている要介護1と2の利用者の総合事業への移行について、今回は見送られましたが、2027年度の改正に向けて、その是非の検討を改めて行い結論を出すこととなっています。今こそ総合事業の本来の目的に立ち返り、この事業について皆さんと一緒に検討して行きたいと思ひます。



制度検討委員長

社会福祉法人博仁会
特別養護老人ホーム和楽ホーム
施設長 **宮澤 良浩**

今期も引き続き、制度検討委員会委員長を務めさせて戴くこととなりました。本委員会では、今年度実施する「特別養護老人ホーム基礎調査」に基づき、都内に於ける入所待機者問題などの諸課題について、実態把握と分析をもとに課題改善に向け、都内各地域で運営される委員の皆様と共に取り組んで参ります。



経営検討委員長

社会福祉法人恵比寿会
フェローホームズ
統括施設長 **森山 善弘**

経営実態調査は、今年23回目となります。アフターコロナの社会状況の変化、労働人口減少推移、急激な物価高騰による、事業収益の現状について各施設の経営実態情報を集約することで、東京都独自の課題を明確にし、目前の報酬改定にむけた行政への提言や経営に役立つ情報を提供できるように運営してまいりますのでご協力をお願いいたします。



災害対策検討委員長

社会福祉法人鶴鶴会
特別養護老人ホーム神明園
園長 **中村 正人**

引き続き委員長を務めさせていただくことになりました。BCP義務化も目前となり、策定未完の事業所では早急に対応を進める必要がありますし、策定済みの事業所では実効性のある業務継続計画であるための更新、訓練の実施が求められています。本委員会では会員施設の災害対策意識の啓蒙を、より進めてゆきたいと考えています。



職員研修統括委員長

社会福祉法人仁生社
特別養護老人ホーム中川園
施設長 **櫻川 勝憲**

昨年度、コロナ禍の影響で研修会の殆どがWEBでの実施でした。今年度5月8日より新型コロナウイルスが2類から5類に移行しましたので、感染状況を注視しながら集合体による研修を企画いたします。研修を通して知識や技術の習得に加え、他事業所との交流の場とし、会員施設の資質向上に努めてまいります。



デジタル推進委員長

社会福祉法人友愛十字会
特別養護老人ホーム友愛荘
施設長 **鈴木 健太**

介護現場においても生産性向上の取り組みによって業務を見直し、限られた資源（人材等）で質の高いケアを提供することと同時に、働きやすく働きがいのある職場を実現することが求められています。今期も研修やシンポジウムの開催等により現場目線の情報提供に努め、会員施設におけるDXの一助となれるよう活動して参ります。



ブロック協議会長

社会福祉法人明徳会
特別養護老人ホーム藤寿苑
施設長 **小野 雄介**

この度、ブロック協議会長に就任いたしました。昨年度まではコロナ禍のため、ブロック会によっては活動があまりできない状況にありましたが、5月8日より5類感染症に移行されたため、今年度は各ブロック間で情報交換を行い、活発なブロック協議会になるよう努めて行きたいと思ひます。



副会長 養護分科会長

社会福祉法人日の基社会事業団
養護老人ホーム日の基青老閣

理事長・施設長 **酒井 雄祐**

この度、5期目となる副会長に就任いたしました。コロナ禍による生活、社会の激変の中、2類から5類への変更となりましたが、高齢施設においては引き続き感染への対応は変わらず、会員の皆様のご苦労は計り知れない事と存じます。介護保険制度から漏れ落ちる高齢者のセーフティーネットとしての大きな役割を持つ養護老人ホーム。その分科会を代表し、高齢者施設において唯一残る措置施設としての存在意義や社会への周知を図り会員の皆様とともに様々な問題に取り組んでいきたいと思っております。



副会長 区市町村施設長会代表者会長

社会福祉法人パール
特別養護老人ホーム・パール代官山

施設長 **入江 祐介**

今年度より副会長に就任いたしました、パール代官山の入江です。近年の物価高騰や新型コロナウイルス感染症、介護人材難など、多くの課題を抱えているところです。高齢協として、様々な課題に対する調査・分析、具体的な提言・要望活動といったアクションを起こしていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。微力では御座いますが、高齢協の更なる発展のために全力を尽くして参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



総務委員長

社会福祉法人青芳会
特別養護老人ホーム今井苑

理事長・統括施設長 **星野 芳博**

この度、初めて総務委員長に就任致しました。東京は日本の縮図のような自治体であり地域によって解決・緩和すべき課題も多種多様です。会員の皆様と共に様々な視点を共有しながら取り組んで参りますのでご指導の程宜しくお願い致します。

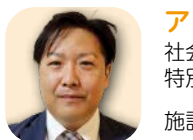


利用者支援検討委員長

社会福祉法人章佑会
やすらぎミラージュ

施設長 **平野 修司**

利用者支援検討委員長を務めさせていただきます。サービスを利用されるご利用者等の視点に立ち、介護現場の現状を踏まえ課題解決に向け検討を進める当委員会の取り組みが、利用者支援に携わる会員施設の皆様の一助となりますよう活動をさせていただきます。よろしくお願い致します。



アクティブ福祉in東京実行委員長

社会福祉法人アゼリヤ会
特別養護老人ホームあかね苑

施設長 **大住 優**

この度、アクティブ福祉 in 東京実行委員長に就任いたしました。コロナ禍におきましてはオンライン配信での開催となっておりますが、今年度は集合型での大会開催が決定しております。再開にあたって会員の皆様には臨場感あふれ、楽しく学びのある大会になるよう実行委員一同取り組んでまいります。



顧問

社会福祉法人白十字会
白十字ホーム

ホーム長 **西岡 修**

常任委員会顧問として、微力ですが皆さまと一緒に力を合わせてまいりますと存じます。未だ油断できませんが、世の中はWithコロナから日常を取り戻そうとしています。高齢者福祉事業所も当たり前の暮らしを回復し、地域社会の一員として新たな発展に向かう活動に力を尽くしてまいりますと存じます。今期もよろしくお願い申し上げます。



副会長 センター分科会長

社会福祉法人緑友会
小川ホーム

施設長 **小林 美穂**

この度副会長・センター分科会長に就任いたしました。近年の高齢者福祉・介護サービスに関する様々な課題に対し、会員の皆様と具体的な活動をしていきたいと思っております。

微力ながら、少しでもお役に立てるよう取り組んでいかせていただきます。

皆様の積極的なご参加とご協力をよろしくお願い致します。



軽費分科会長

社会福祉法人博愛会
ケアハウスハーモニー松葉

施設長 **浅利 洋平**

令和5年度より軽費分科会長に就任いたしましたハーモニー松葉の浅利と申します。

自然災害や感染症、物価高騰など今後、施設運営に影響を与える環境変化に対応できるよう動いていきたいと考えています。

微力ではありますが、東京都の福祉に貢献できるよう様々な課題に取り組んでいく所存です。



情報・広報室長／施設管理検討委員長

社会福祉法人一誠会

地域密着型特別養護老人ホーム第二倍楽園ホーム

常務理事・統括施設長 **水野 敬生**

4期目となる情報・広報室長に就任いたしました。室内に設置した広報戦略推進委員会を中心に、会員をはじめ、多くの方々に役に立つ発信を心がけていきます。また、前委員長のご逝去に伴い、施設管理検討委員会の委員長も兼任しますが、前委員長の遺志を引き継ぐとともに、高橋三行前委員長のご冥福をあらためて心よりお祈りします。



人材対策委員長

社会福祉法人至誠学舎立川

至誠ホームミナ

園長 **諏訪 逸**

この度、人材対策委員長に就任いたしました。羽生前委員長のバイタリティ溢れるご活躍には遠く及びませんが、委員の皆さんと力を合わせて、高齢者福祉に携わる人材を一人でも多く確保できるよう、各方面への働きかけを強化し、各種研修会等を通じて介護や福祉の仕事の素晴らしさを発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新時代の高齢者福祉デザイン検討委員長

社会福祉法人積善会
特別養護老人ホーム長洲園

施設長 **川口 睦弘**

今期も引き続き委員長としてお世話になります。活動の自由度は高い委員会ですが、委員会設置時からの期待される役割をふまえ、現在、新時代委員会「ならでば」の目標や活動方針を策定している段階です。多岐にわたる課題を分析しながら、本委員会が高齢協の活性化やネットワークの強化となるよう、より一層邁進してまいります。



顧問

社会福祉法人聖風会

理事長 **近藤 常博**

この度、昨年度に引き続き顧問を拝命しました。新型コロナ感染症も令和2年より4年目で第5類に移行し不透明な状況が残り、福祉を取り巻く環境も2024年報酬改定、2025年雇用、医療、福祉環境などの課題 2040年更なる混迷時代に進む中で、福祉環境の維持に向け、微力ながらお力添えさせていただきます。

東京ケアリーダーズが行く！

うわさの
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験を持つ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが取材します。

今回は、日頃の介護現場での取り組みや実践、研究を学会形式で発表する「アクティブ福祉 in 東京 '22」の優秀賞受賞施設に取材しました。

その21

2022年開催 第17回 高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京 '22」
テーマB「日常ケア・認知症ケアの向上」優秀賞

社会福祉法人浴風会 特別養護老人ホーム第三南陽園 菅 祐一朗さん 吉田 晶美さん

自立支援の視点でケアを行う事で コミュニケーションの本質的な力を実感した研究

ご利用者主体の寄り添う姿勢を徹底し、自立支援の介護の質を向上させる研究を行った第三南陽園は、「アクティブ福祉in東京 '22」で優秀賞を獲得しました。今回は、発表者である介護職員の菅祐一朗さんと機能訓練指導員の吉田晶美さんにお話を伺いました。※肩書は当時



取材の様子
左：針谷和貴さん
（東京ケアリーダーズ）、
中央：吉田晶美さん、
右：菅祐一朗さん

—— 今回の取り組みのきっかけをお聞かせください

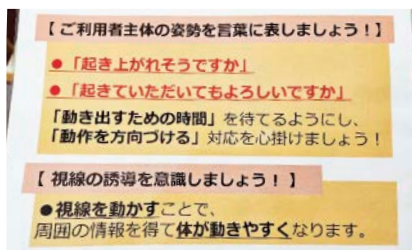
菅 自立支援は介護の基本ですが、スムーズな業務進行のために、その優先度が低くなってしまいう傾向ができてしまっていました。この傾向を改善するために、機能訓練指導員を中心とした自立支援を徹底して行うための会議を設けるようにしました。

—— 今回の取り組みでの工夫をお聞かせください

吉田 自立支援に関する対応を全職員で統一するために、移乗や起き上がりなどの注意点をまとめた1分程度の動画を作成し、情報共有しました。また、動作獲得チェックシートを各所に掲示し、ふとした時に介助手法を思い出せるようにしました。

—— 言葉遣いも意識されたそうですが、どのような表現を心がけましたか

吉田 言葉遣いでは、例えば職員が主体の「起こしますよ」ではなく、ご利用者が主体の「起きますよ」という表現を徹底しました。



職員の意識づけのための掲示物

—— 取り組みの結果、施設ではどのような変化がありましたか

吉田 ご利用者は動作の獲得により生活の幅を広げようとする姿勢が、職員はご利用者の持つ力に気付こうとする姿勢がみられるようになりました。これらが好循環し、施設の活気につながっています。また、介助量やリスクの軽減にもつながっています。

—— 自発的な動作を待つことに対する職員の苦慮への対応はどのようにされていますか

菅 動作を待つことの苦慮の根源は、今この時間に意味があるかという疑問だと思います。その疑問の解消のためには、成功事例を積み重ねていくことが必要だと考えています。

—— 意志・感情の表出が難しい方の変化の汲み取りはどのようにしていますか

菅 普段と違う声や表情がみられたときに、それがどんな感情から来るものか経験から推察します。わずかな変化に気付くためには普段の様子の徹底的な理解が必要です。

—— 今後の課題と目標をお聞かせください

菅 研究が日常に反映され、ご利用者の自立の促進は職員の自信や活気につながっています。今後、業務における自立支援の優先度をさらに上げていきたいと思えます。

—— 私自身、業務の中でどうしてもスピードを求めてしまい、結果焦ってミスをしてしまうこともあったと思えます。本研究はこの葛藤を解決する答えの一つだと感じ、私自身としても参考にして取り組んでいます。本日はありがとうございました。



* 第三南陽園さんのインタビュー動画も含む
大会ダイジェスト版動画はこちらから



<https://www.tcsv.tvac.or.jp/bukai/kourei/taikai/2022-activefukushi.html>

* この記事のより詳しい内容は高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。



<https://www.tcsv.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人浴風会 特別養護老人ホーム第三南陽園

所在地：〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-12-1 TEL：03-3334-2193

取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 針谷 和貴さん（新町光陽苑）

記録・編集：東京新聞 木下 聡文

第三南陽園
ホームページ▶



福祉施設における社会貢献としての SDGsの取り組み方についての一考察

世界中でSDGsが推進される中、それを福祉施設で実現できるアクションに落とし込む研究を行った砧ホームは「アクティブ福祉東京 '22」で優秀賞を獲得しました。今回は、発表者である副主任介護職員の三浦好顕さんにお話を伺いました。 ※肩書は当時



◀取材の様子
 左：荒井裕介さん
 （東京ケアリーダーズ）、
 右：三浦好顕さん

—— 砧ホーム独自の17項目のSDGsアクションはどのように決定しましたか。

施設内でSDGsの啓発書籍を回覧したのち、全職員からアンケートでアクションの案を集りました。その中から17項目に選出しまとめる作業では、実現可能であることと無理なく時間内で継続できることを仕分けの基準にしました。

—— オリジナリティあるアクション策定のために、どのような議論を進めましたか。

当施設の強みであるICT機器の活用や、休暇を取りやすい勤務制度などを活用する宣言を設定。また、どうしたら実現できるかを重要視し、例えば「⑩ペランダで緑を育てる」のアクション実現のために、施設内の日当たりの精査や園芸の勉強をしています。

—— 今回の取り組みでの工夫をお聞かせください。

アクションは全職員で取り組まなければなりませんので、目標の共有を徹底しました。さらに、ご利用者にもアクションに関わっていただくことを心がけました。具体的にはアクション啓発カードの掲示やデジタルサイネージでの表示などを行っています。



◀デジタルサイネージでの表示

—— 取り組みの結果、施設ではどのような変化がありましたか。

ご利用者が積極的に取り組まれたことが印象的です。例えば「⑦誰もいない居室の電気は消そう」では、不在の居室やトイレの電気を消して回られたご利用者もいます。

—— 今後の目標をお聞かせください。

発表で終わりにするのではなく、取り組みを継続し、発信していきたいと思っています。

—— 今後こうした取り組みを検討する施設へアドバイスををお願いします。

研究ではどうしても職員間でモチベーションの差は発生



▲トイレ前のアクション啓発カードの掲示

しますが、前向きでない職員も巻き込むためには、まずは実践し、改善を繰り返すことが大事だと思います。

—— 今後のアクティブ福祉に応募する方へ、メッセージをお願いします。

介護の仕事は評価される機会が少ないと感じますが、アクティブ福祉は公的に評価を頂ける場です。また、研究の共有により、別施設の課題解決の参考にもなり、東京の介護のレベルアップにつながると思います。ぜひ、研究発表に挑戦してください。

—— 砧ホームでの様々な分野の挑戦は、どれも砧ホームらしさや継続できる要素を入れることで、職員全体の主体性を引き出していると感じます。私自身もケアリーダーズとして、自身の知識や経験に裏打ちされた介護の魅力の発信と、周囲を巻き込んだ活動をしていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

*三浦さんのインタビュー動画も含む大会ダイジェスト版動画はこちらから



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/taikai/2022-activefukushi.html>

*この記事のより詳しい内容は、高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。



<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人友愛十字会 砧ホーム

所在地：〒157-0073 東京都世田谷区砧3-9-11 TEL：03-5429-6239

■取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 荒井 裕介さん（あかね苑）

■記録・編集：東京新聞 木下 聡文

砧ホーム
ホームページ▶



新時代旋風

書籍

「介護百首」 出版までの道のり

介護百人一首とは

駒場苑で大事にしたい介護の考え方、理論、技術を1つ1つ短歌に変換し、100首作ったものです。この短歌を絵付きのカレンダーにして、各事業所やフロアで掲示して使用する事で、職員さんは働きながら勤務時間中に自然とそれらを知る事も出来るという、1つの研修ツールとして駒場苑で作成したものです。施設内研修では全員集まる事はシフト上難しい事や、コロナ禍で集まるリスクもあった事から、カレンダーとしての掲示であれば、全職員に安全に、しかも勤務時間内で負担なく伝えられるという点で、施設内で浸透していきました。そのような取り組みをSNSで投稿したところ、このカレンダーが欲しい！という声を多数頂いたため、1,000円以上のご寄付のリターン品として全国の希望する方へ送る事となりました。今ではカレンダーは年間200～400本送っている状況です。



介護百人一首カレンダー



社会福祉法人愛隣会
総合ケアセンター駒場苑施設長

さかの ゆうき
坂野 悠己

そして書籍化へ

そのような事を数年続けている中で、この百首を一冊にまとめて本にして欲しい！という声を多数頂き、知り合いの出版社に相談をしたところ、面白い本になりそうという事で、ご興味を持って頂き、資金をクラウドファンディングで集める事となりました。目標金額は120万円！SNSで募ったところ、それがなんとあっという間に集まり、最終的には180万円を超えました。そこまでお金が集まった理由は、カレンダーで全国の事業所で既に使用されていた事、SNSで毎日1首ずつ紹介していた事が大きかったと思います。施設内研修のツールだったカレンダーが、ここまで発展していった事に嬉しく思うと同時に、このカレンダーや書籍が、いろんな事業所で活用され、改善のきっかけになればと願っています。



書籍「介護百首」

Join us!

イベントのご案内

アクティブ福祉 in 東京 '23

第18回
高齢者福祉実践・研究大会

Active Fukushi



アクティブ福祉 in 東京 '23 京王プラザホテルで開催します！！

社会福祉法人アゼリヤ会 特別養護老人ホームあかね苑

施設長 **大住 優**
おおすみ まさる

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は開催が中止となり、翌3年度、4年度はWEB配信で、多くの方にご視聴いただきました。

今年度は「さいかい」をスローガンに集合型で京王プラザホテルにて開催します。

いままで参加された方もまだの方も4年ぶりに開催される東京の実践・研究大会ですので、ぜひ、他施設のさまざまな口演発表や大会イベントを体感していただきたいと思います。大会実行委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

アクティブくんも来ます！



大会概要や参加のお申込みはこちらから→
(QRコードを読み取ると大会ウェブページにつながります。)



▲2019年度口演発表会場の様子



▲2019年度全体会（表彰・ステージイベント）の様子

東京の介護ってすばらしいグランプリ 結果発表!

高齢者福祉施設における多様な場面にスポットをあて、介護の仕事の魅力を広くPRする年に一度のグランプリ。

高齢協 情報・広報室（広報戦略推進委員会）が主催する、介護の魅力を伝えたい方なら施設職員・利用者・ご家族など、どなたでも応募いただけるグランプリイベントです。

令和4年度もコロナ禍を踏まえ、ウェブサイトから応募いただけるオンラインイベントとして、「東京の介護ってすばらしいグランプリ2022」を実施しました。皆様からのたくさんのご応募、ありがとうございました。

今号では、令和5年3月に発表した、受賞作品をご紹介します!



【東京の介護ってすばらしいグランプリ 2022 開催概要】

開催期間：①作品募集期間 2022年11月1日～2023年1月9日 ②結果発表 2023年3月

応募資格：東京都内の介護の魅力を伝えたい人（施設職員・利用者・家族・一般の方など）


応募方法：全部門、ウェブサイトからの応募

募集部門・テーマ：

部門	募集テーマ
動画部門	<ul style="list-style-type: none"> ● トーク動画「介護の〇〇について話してみた」（10分以内） ● 密着ドキュメンタリー動画「〇〇さんの一日」（5分以内） ● 施設・事業所の紹介CM（30秒以内）
写真部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護サービスを利用されている方や、おじいちゃん、おばあちゃんの姿 ● 介護職員の姿 ● 介護施設を通じた地域の繋がり
コラム部門	● 介護にまつわる感動・おもしろエピソード
レシピ部門	● 高齢者のココロとカラダがよるごぶレシピ

東京の介護ってすばらしいグランプリ 2022 受賞作品・受賞者

すべての受賞作品は、下記サイトからご覧ください!!

- 高齢協ホームページ内「グランプリ」ページ  <https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/grandprix.html>
- 「グランプリ」特設サイト <http://koureikyo.com/>



▲高齢協HPグランプリページ



▲グランプリ特設サイト

動画部門



「高校野球最後の夏! じいちゃんはいちばんの応援団長!」
特別養護老人ホームひのでホーム 関澤 孝文 氏



👑 優秀賞

- ・「重度訪問介護の魅力は「自分らしく生きる」を一緒に叶える事」土屋訪問介護事業所・東京 コーディネーター石井さんの1日
〔ユースタイルラボラトリー株式会社 土屋訪問介護事業所〕
- ・人と人がつながり合えるすてきなお仕事～介ご保けんについて調べる～
〔高橋美鶴 氏（保護者（社福）響会好日荘ケアプランセンター 高橋美香 氏）〕

👑 入賞

- ・介護士の仕事って? 介護士の1日に密着! (武藤敦彦氏)
- ・～ドキュメンタリー movie～入居者さまへの密着から想うアイデンティティ
〔特別養護老人ホーム栄光の杜 木下淳 氏〕
- ・「介護職員のリアル見せます」～給料・休日・私の夢～
〔(社福) 聖風会 吉田浩一 氏〕

写真部門



「コロナ禍の敬老祝賀会」

特別養護老人ホームフレンズホーム 山田 貴之 氏



👑 優秀賞

- ・「語る背中」：伝えたくて、聴きたくてシリーズ「語る背中」
〔(社福) 聖風会 千住桜花苑 吉田浩一 氏〕
- ・笑顔溢れる日常
〔(社福) 仁生社奥戸在宅サービスセンター 高田紘行 氏〕

👑 入賞

- ・世界一優しい挨拶
〔特別養護老人ホーム栄光の杜 三嶋香奈 氏〕
- ・頭をお願いします 〔東京雄心会こぐれの里 町田詩織 氏〕
- ・百発百中!!
〔(社福) 青芳会 特別養護老人ホーム今井苑 岸田全史 氏〕

コラム部門



「愛と絆の力」

墨田区特別養護老人ホームなりひらホーム 小坂橋 晃 氏



👑 優秀賞

- ・ちゃんちゃかちゃんのだすつちゃんちゃん♪。何か良い事♪あるかしら♪。
〔(社福) すこやか福祉会 江川慎吾 氏〕
- ・遠い国から来た家族
〔(社福) 一誠会偕楽園ホーム ガルド ピアンカ ブラデラ 氏〕

👑 入賞

- ・星の砂 〔(社福) 常盤会 調布市地域包括支援センターときわぎ園 小嶋泰之 氏〕
- ・私が介護職を続けている理由 〔第二紫水園 野田真希 氏〕
- ・魔法のことはば 〔宇野佳子 氏〕

※サイトでは「コラム部門受賞作品集」をご覧ください！

レシピ部門



「豆腐のふわふわキッシュ」

特別養護老人ホーム清明園 森本 光 氏



👑 優秀賞

- ・アツアツ! 煉獄のたまご 〔(社福) 道心会 特別養護老人ホーム藤香苑 渡邊恵美氏〕
- ・笑顔になれるみぞれ鍋 〔森由香里 氏〕

👑 入賞

- ・中身はお楽しみ。栄養満点! オムライス
〔(社福) 練馬区社会福祉事業団 上石神井特別養護老人ホーム 村松里美 氏〕
- ・鶏肉の黒酢あん〜豆腐のかくれんぼ〜
〔(社福) 三交会 青葉台さくら苑 島倉ひとみ 氏〕
- ・簡単焼売鍋 〔相賀瑞穂 氏〕

※サイトでは「レシピ部門作品集」(受賞作品・一次審査通過作品)、高齢協 YouTube では受賞作品動画をご覧ください！



今年度も「東京の介護ってすばらしいグランプリ 2023」を開催します！

詳細は、9月以降にご案内予定です。たくさんのご応募お待ちしております。ぜひ奮ってご応募下さい。

専門委員会リレートーク

第20回 利用者支援検討委員会

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会※に所属する委員から、委員会の活動内容や、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題、新しい取り組み、他施設に教えた情報伝えるページです。

利用者支援検討会 委員長
社会福祉法人章佑会 やすらぎミラージュ
ひらの しゅうじ
施設長 平野 修司

「利用者のくらし（QOL）を守るために～今、私たちにできること～」

昨年度の利用者支援検討委員会は、研修動画「利用者のくらし（QOL）を守るために～今、私たちにできること～」を配信させていただきました。繰り返す新型コロナウイルスの流行の影響から、面会の制限、行事や地域交流、ボランティアの受け入れ中止や縮小など、ご利用者の「命」を守るための対応を継続せざるを得ない状況がある中、ご利用者の方々の「くらし（QOL）を守る」ために、会員施設の皆様が今できることは何かを模索しながら様々な取り組みを実践してきた事を共有し、発信することが必要であると考え、研修を企画致しました。研修では3施設のご協力を頂き、コロナ禍でのご利用者の支援、ご家族への情報発信・面会・地域交流に関する取り組みの実践報告をしていただくとともに、西岡顧問に統括講義をしていただきました。



▲西岡顧問による統括講義（研修動画）

ご利用者やご家族の視点にたって

利用者支援検討委員会の特徴はご利用者やご家族の視点に立ち、よりよい利用者支援を実践するために、その時々課題を介護現場の状況も含め多面的に検討を行う所にあります。今年度につきましては「利用者の尊厳を守り、利用者が求めるよりよい支援のあり方」をメインテーマに、活動を行います。今後も会員施設の皆様には情報の提供や実践報告などのご協力をお願いさせていただきますので、よろしくお願い致します。



▲こぐれの杜事例発表（研修動画）

※制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。



軽費分科会について

社会福祉法人博愛会 ケアハウスハーモニー松葉

軽費分科会長 あさ り 浅利 よう へい 洋平



今年度より軽費分科会長を拝命しましたケアハウス ハーモニー松葉の浅利と申します。軽費分科会としては、軽費老人ホームの職員の処遇改善や運営費補助金の見直しの検討と都所管への要望、施設機能向上についての検討、運営や補助金・制度上の課題についての検討、軽費老人ホームの周知活動、職員の支援力・専門性の向上を目標に活動していきます。

【軽費老人ホームの役割と課題について】

軽費老人ホームはA型、B型、都市型、ケアハウスに分類できます。施設の役割としては、いずれも低額な料金で身体機能の低下などにより自立した日常生活を送ることに不安がある方を対象に施設サービスを提供し、生き生きと明るく生活することです。入居者の所得に応じた施設利用料となり、所得が低い入居者は低い利用料金で入居することができます。60歳以上が対象で身の回りのことができ、困ったときに専門職の支援を受けることができる環境で安心して暮らしたい方に適しています（「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている施設は要支援・要介護者が対象）。

当ケアハウスで抱えている課題は①介護保険制度とは違って制度の見直しが頻繁に行われないため、感染症の流行や物価高騰、法律の改正などの環境変化に対応できず、財政面で施設運営が難しくなっている②施設内の入居者の高齢化により職員不足になっている③入居待機者が少なく入居率が低い、の3点です。

当ケアハウスでは地域貢献活動として、地域の3つの社会福祉法人合同で「やのくち子ども食堂」を行っております。ウィズコロナ時代での地域貢献活動をどのように実施していくかも考えていく必要があります。

安定した施設運営や入居者へ良いサービスを提供できるように委員会内で協議、活動していきたいと考えております。軽費分科会員の皆様の委員会へのご参加をお待ちしております。



ハーモニー松葉
ホームページ▶





やりがいや楽しみを持って 仕事をしていますか

社会福祉法人白十字会東村山市北部地域包括支援センター センター長
センター分科会 支援センター分会長 すずき ひろゆき **鈴木 博之**

介護予防プランが多い、複雑で多様な相談が増えていて大変、といったことが地域包括支援センター（在宅介護支援センター含む。以下、センターという。）の課題として取り上げられます。

しかし、それだけでしょうか？ 地域包括支援センターが生まれて早 17 年、分会の役員や会員の方々と様々な場面で話していると、「所内での情報共有が難しい」「ただ忙しいだけで充実感が感じられない」「職場で孤立している」などといった話題も出てくるようになってきました。17 年前からセンターに勤務しているおじさんとしては「昔は良かったなぁ」、つい口から出てきそうになってしまいます。

そんな時にふと感じた疑問、センターの課題を業務やマンパワーという観点だけで捉えることで、本当に良い職場になるのか？もしかしたら違うかも、そんな素朴な疑問から「地域包括支援センター職員のやりがいと職場環境に関する意識調査」を実施することとなりました。

実施に当たっては、高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 大口 達也先生にご協力頂き、ワークエンゲージメント（仕事に対してポジティブな感情を持ち充実している状態）の向上も意識しながら設問を組み立てました。179 名の皆様から回答頂き、現在鋭意分析中ですので、まとめ次第皆様にはご報告させていただきます。

下記の図は、【あさ目が覚めると「さあ仕事に行こう」という気持ちになる】（N = 175）という設問の回答です。おおむね肯定的な回答が 83 名、否定的な回答が 92 名。こんなところに今のセンターの現状が表れているのかもしれませんが。さてあなたはどちらですか？

支援センター分会の皆様はもちろんですが、他の分科会の皆様もご意見等あれば事務局までお寄せください。宜しくお願い致します。

【あさ目が覚めると「さあ仕事に行こう」という気持ちになる】（N = 175）

	回答数	割合	
全くない	26	14.9%	④
ほとんど感じない・1年に数回以下	27	15.4%	③
めったに感じない・1カ月に1回以下	39	22.3%	②
ときどき感じる・1カ月に数回	43	24.6%	①
よく感じる・1週間に1回	22	12.6%	⑤
とてもよく感じる・1週間に数回	13	7.4%	
いつも感じる・毎日	5	2.9%	



東京ケアリーダーズ 活動紹介

新生ケアリーダーズ始動!!

社会福祉法人大三島育徳会 博水の郷
ばんもと たかや
東京ケアリーダーズ 代表 番本 鷹也

皆さんこんにちは！東京ケアリーダーズの代表をしている番本です。

新年度を迎え、新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、少しずつ感染対応も緩和されているかと思いますが、私たちケアリーダーズの活動も新年度に突入し新たな取り組みを開始しました。前回の活動紹介でも書きましたが、令和5年度からケアリーダーズが主催する研修会を開催しております。

この研修会は、現場の介護職員としても一度原点に立ち返り、介護の仕事の魅力について自信をもって伝えられるような知識とスキルを身につけるために、現場職員の日頃の業務の中での悩み・疑問に寄り添った「よりリアル」をテーマに1年を通して開催していきます。

そして、先日第1回目の研修会が終了しました。第1回目の「よりリアル」のテーマは【虐待防止について】でした。ただ、普通に虐待防止について学ぶのではなく、「世界一楽しい虐待防止の研修」と題し、「不適切なケア」「虐待」とは何か、自分が思っている虐待と乖離がないかをグループワークを通して一人一人が考えるきっかけとなる研修会でした。講師をしてくれたのは≪メディカル・ケア・サービス株式会社 コーポレートコミュニケーション室長 認知症戦略部長・杉本 浩司様≫で、昨年度よりケアリーダーズのアドバイザーとしてもサポートしてくれています。今後も「認知症ケアについて」「ボディメカニクスについて」を題材に、現場の職員が知りたい「よりリアル」なテーマにフォーカスして楽しい研修会にしていく予定です。今後の活動にご期待ください。それでは！



第1回研修会の様子





介護職員研修委員会 活動紹介

社会福祉法人友愛十字会 友愛荘 主任介護職員

介護職員研修委員会 代表幹事 やま くち こう じ
山口 公司

【介護職員研修委員会とは】

介護職員の知識・技術向上のための様々な研修を企画する委員会です。介護施設の『メイン職種』でもあり、実際に現場の第一線で働く【介護職員】を中心に、令和5年4月現在約20名で構成されています。

【活動内容】

年5回の委員会と、年2～3回の研修を開催しています。どのような研修が求められているのかを調査・把握し、実施日、場所、時間、具体的な内容、講師などを検討しています。また、各幹事の事業所における悩み事や、情報共有、その他都内各ブロックにおける活動報告もしています。昨年度までの約3年間はZOOMでの委員会の開催、また研修の実施でしたが、今年度からは集合型での実施を予定しています。

令和4年度における介護職員研修委員会実績

【研修】

『介護職員のためのオンライン情報交換会』（7月、2月）

『災害に関する研修会～熊本地震を体験した介護職員からの生の声に学ぶ』（11月～12月で配信）

【委員会】

5月、7月、10月、1月、3月（土曜の午後に開催）

【今後の活動について】

今年度は集合型の研修を検討しています。ZOOMを活用した研修の経験を活かし、オンライン等のWEB型と集合型の複合型を検討中です。

【さいごに】

介護職は多くの役割を担う事業所の核となる職種です。専門性を高めていくために知識と技術を向上させていく必要があります。

活動が気になった方はぜひお問い合わせ下さい。一緒に『東京の介護』を盛り上げていきましょう！

読者モニターからのご意見（一部抜粋） - 第52号 - 読者モニターの皆様からいただいたご意見を紹介します！

▶どの地域でも人材の確保は課題になっており、様々な取り組みを知ることができた。多くの方に知ってもらい、興味を持ってもらう、というのはとても重要だと思った。（特集「地域における福祉・介護人材確保の取り組み」）

▶内容は素晴らしいが、ページ数を増やすなどして行間が欲しい。（新時代旋風）

▶コメントや展望、問題提起等、それぞれの発表者の取り組みの熱量が感じられるページになると良かった。（アクティブ福祉 in 東京 '22 受賞結果）

▶感染症BCPの作成は各施設でも実施しているが、他施設の内容を知ることができたのがよかった。（軽費分科会 TOPICS）

▶毎号、心が洗われる。涙が出る。（私の心に残るエピソード）

▶いただいたご意見はよりよい機関誌発行のために活かしてまいります。

私の心に残るエピソード

家族の想い、施設の考え。その狭間で

生活相談員研修委員会 代表幹事
 社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会
 港区立特別養護老人ホーム港南の郷



生活相談員 **こん どう のり ひこ**
近 藤 紀 彦

私の仕事は特養の生活相談員です。ソーシャルワーカー（以降SW）としての機能が重要だと理解していますが、その気持ちは埋没し、日々の業務に明け暮れております。そんな中、SWとして進行中のエピソードをご紹介します。

その方は、最近、看取り期に入り、食事摂取量も減ってきて、声かけに殆ど反応のない状態です。ある時、面会に来た長女は「最期は自宅で見守りたい。退所させて自宅に連れて帰ります」と話されました。私はすぐに『在宅復帰したら寿命を縮める』と考え、誤嚥や褥瘡のリスク、介護の大変さを伝えました。長女は「そうですね。逆に苦しめますよね」と言って帰宅しました。次の面会時に長女は「考えましたが、やはり自宅に連れて帰ります」と私に告げました。私と長女は、母親の耳元で自宅に帰りたいか何度も聞きました。はっきりした返答はありません。何度も聞くうちに何となく首を縦に動かしたように見えました。正直、声かけに反応したのかは分かりません。しかし、長女は「分かった。帰ろう」と涙を流して母親に返答していました。

現状では長女に介護は不可能です。私は、長女の許可を得てケアマネ予定者に状況報告を行い、同時に介護係・看護係・理学療法士・管理栄養士に、食事介助・排泄介助・移動介助・医療的知識を長女にレクチャーするよう要請しました。全職員が「在宅復帰は無理。勉強会をやって諦めてもらう」という意見でした。結果、長女は移乗介助練習中にぎっくり腰を発症し、数日間動けなくなりました。私を含め、関係職員は「やはり無理。施設の方が安全」という考えになりました。私は長女に「介護サービスを利用すれば、可能性はある」と諦めながらも伝えると、長女は「良く分かりました。今は母を介護できる状態ではありません。間に合わないかもしれませんが、ヘルパーさんの講習会（介護職員初任者研修）に行ってきます」と話しました。私は、長女の前向きな姿勢を関係職員に伝達し「施設全体で在宅復帰を後押しする」と今も言い続けております。

私が敬愛する長女は、間に合わないと感じながらも可能性を信じ、現在、介護職員初任者研修に参加中です。

編集後記

新型コロナウイルスとの「共存」もこの5月より5類へと移行し、社会状況も転換点を迎えました。とはいえ、我々高齢者に関わる者からすると、ある意味、これまで以上に感染症への敏感さが、ご利用者の日々の安心と安全を護る上で必要になったような気がするのは私だけでしょうか。

さて、総会や分科会をはじめ、今号の記事にも掲載しました「アクティブ福祉 in 東京'23」の開催や東京ケアリーダーズによる研修など、コロナ前のように「対面集合形式」での活動も徐々に再開され始めています。オンラインも活用しつつ、それだけでは得られない体験を改めて感じていただける場になればと思います。

また、「東京の介護ってすばらしいグランプリ2022」の結果が高齢協HPや特設サイトでご覧いただけます（本誌QRコード参照）。今年度も開催いたしますので、前年度の受賞作品をご覧ください、ご応募の準備を始めてみてはいかがでしょうか。

社会福祉法人 みどり福祉会
 特別養護老人ホーム 高ヶ坂ひかり苑
 施設長 花岡 道悦

アクティブ福祉